

水土里豊かな国づくり・土地改良を支える人と技術  
阿武隈川上流災害復旧事業  
西郷ダム災害復旧工事

(東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所)



東日本大震災は、東北内陸部の土地改良施設にも大きな被害をもたらしました。ここ福島県西白河郡西郷村に位置する西郷ダムでも、天端部波返しコンクリートの破損、堤頂部盛土のクラック発生及び上流側リップラップ(玉石)の滑り等の被害が生じてしまいました。

西郷ダムは、国営「阿武隈川上流地区」により昭和30年に竣工したアースダム(ゾーン型、堤高32.5m、堤長220m、有効貯水量3,064千m<sup>3</sup>)で、地域の水田の用水源として大切に使われてきました。

復旧工事は、平成24年4月に着工し平成25年2月に完成させて、春からのかんがいに間に合わせるよう施工しました。

工事の内容は、損傷したダム堤頂部の盛土(h=4.2m,L=127m)を除去して再盛土をすること、及び上流斜面のリップラップを含む深さ2.0m(玉石及び盛土)を除去して碎石(0~600mm)で再施工することなどです。

工事は、実施に伴う被災堤体の調査及び基礎地盤の強度確認等に予想外の時間を要し、工程回復のため昼夜2交替施工等の困難を伴いましたが、このほど完工の運びとなりました。

今は春からのかんがい用水の供給が待ち遠しいところですが、将来にわたって西郷ダムが地域に貢献できることを願っている次第です。

Yamaguti Susumu  
山口 進 三井住友建設(株)西郷ダム作業所長



一般社団法人 土地改良建設協会

Land Improvement Construction Association of Japan